

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

公園自然課（内線：7872）

9目 狩猟費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 高病原性鳥インフルエンザ対策事業	906	0	906				906	
トータルコスト	4,220千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.40人							
主な業務内容	監視調査、普及啓発							
事業内容の説明								
1 事業概要								
野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルスのサーベイランス（監視調査）及び県民への正しい知識の普及を行い、鳥インフルエンザの早期発見に努めるとともに、人への健康被害を防ぐ。								
2 事業内容								
(1) ウイルス保有状況調査 771千円								
平成20年9月に環境省が策定した「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る都道府県鳥獣担当部局等の対応技術マニュアル」に基づき、野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルスのサーベイランス（監視調査）を行う。								
ア 糞便採取調査								
野鳥が海外から日本に高病原性鳥インフルエンザウイルスを持ち込んだ場合に早期発見することを目的とし、ガンカモ類の糞便を採取し、高病原性鳥インフルエンザウイルスの有無を調べる。								
イ 死亡野鳥等調査								
野鳥が死亡した場合の早期発見に努めるとともに、野鳥の死亡個体等の高病原性鳥インフルエンザウイルスの有無を調べる。								
(2) 普及啓発 135千円								
野鳥は高病原性鳥インフルエンザ以外の様々な原因で死亡し、他の病原体を持っている可能性もあることから、死亡野鳥に直接触らないことやうがいをする等適切な対応について、普及啓発を行い、人の健康被害を防止するとともに、高病原性鳥インフルエンザの早期発見できるように、野鳥の異常死等を発見した場合の対応窓口について周知を行う。								